

図書館だより no.256

2025（令和7）年11月20日発行
〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
Tel 024-535-3218 Fax 024-536-4787

編集・発行 福島県立図書館
<https://www.library.fcs.ed.jp/>



年末年始の休館日のお知らせ

令和7年12月25日（木）～令和8年1月7日（水）は、年末年始と図書館システムの更新のため休館いたします。詳しくは福島県立図書館ホームページをご覧ください。

企画展示のご案内

「福島の城 城郭絵図を中心に」

日時 11月7日（金）～令和7年12月24日（水）

場所 企画展示コーナー

令和7年で築城400年を迎えた棚倉城にちなみ、当館の所蔵する福島県の城郭絵図などを展示します。前期・後期で展示資料を変えるため、様々な絵図をご覧いただけます。

当館が所蔵する貴重な資料をぜひご覧ください。

<展示予定資料>

○前期 【11月7日（金）～12月3日（水）】

「棚倉城郭絵図」「棚倉城外地割絵図」「陸奥国白川城之図」など



福島県立図書館所蔵「棚倉城郭絵図」

○後期 【12月5日（金）～12月24日（水）】

「福島旧城之図」「二本松旧城内之全図」「平城郭之図」など

こどものへや 展示のご案内

○期間 11月7日(金)～12月3日(水)

【おうちのえほん】 場所 絵本コーナー
いろいろなおうちが出てくる絵本を展示します。

【しきかえほん】 場所 子育て支援コーナー
ページをめくるのが楽しくなるしきかえ絵本を展示します。

【本はともだち】 場所 こどものへや入口横
読書の秋です！県立図書館がおすすめする、小学生向けのおはなしの本を展示します。

♪ちいさなおはなしかい



0歳から3歳のお子さんと保護者の方を対象とした、絵本の読み聞かせやわらべうたを楽しむおはなしかいです。

日時 11月28日(金)・12月19日(金)

いずれも 11:00～11:15頃

場所 こどものへや
※予約不要・参加無料です

令和7年度 福島県立図書館「県民講座」のお知らせ <令和7年12月6日(土)14:00～15:30>

法テラス福島「一般市民向け法教育事業」 相続・遺言の基礎知識と相続に関する最近の法改正

講師：法テラス福島法律事務所 弁護士 圓谷 徹(つぶらや とおる) 氏

場所：福島県立図書館 第1研修室 入場無料、事前申込制(先着40名)

※はじめての方にもわかりやすく相続・遺言の基礎知識について解説します。

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・社会・自然

『男が「よよよよよよ」と泣いていた 日本語は感情オノマトペが面白い』(光文社新書)

山口 仲美／著 光文社 2025.8 814/冊 258

本書では感情にまつわる日本語オノマトペの歴史を紐解きます。例えば、「よよ」「しくしく」と言った「泣く」に関するオノマトペをたどると、時代によって泣くことを肯定される人・泣くことを許されない人がいたことが見えてきます。1200種類におよぶ奥深いオノマトペの魅力にぜひ触れてみてください。

『ラーゴムが描く社会 スウェーデンの「ちょうどよい」国づくり』鈴木 賢志／著 新評論 2025.7
302.3893/冊257

幸福な国スウェーデンに根付く特有のライフスタイル「ラーゴム」とは? 「ちょうどよい」を意味するこの言葉が、政治・経済、働き方、家庭生活などさまざまな分野に浸透しているスウェーデンの、持続可能でバランスの取れた国づくりを解き明かす一冊。私たち自身の「ちょうどよい」生き方を見つけるヒントが満載です。

『確率は悩ましい 日常身辺の確率的諸問題』(岩波科学ライブラリー)

原 啓介／著 岩波書店 2025.10 417.1/冊25X

「明日の降水確率は~」というように、確率の考え方は日常生活のさまざまな場面で用いられていますが、そもそも「確率とは何か?」という問いは、実はかなり難しい内容です。本書は宝くじや「神が存在する確率」などの例を用いて、確率について何が難しいのか、どういった考え方があるのかなどを論じています。身近な例から数学の奥深さを知ることができる一冊です。

児童・児童図書研究

『まだ何になるかわからない』

キボリノコノノ／著 実務教育出版 2025.7
J712.1/#

「木彫りであと驚くもの」をコンセプトに身近な食べ物や生活雑貨を表現している木彫アーティストのエッセイです。ページをめくると木でできているとは思えない「溶けかけの氷」や「注がれるコーヒー」などの精巧な作品に目を奪われます。創作の裏側はもちろん、食べることやものづくりへのこだわりが強かった子どもの頃のエピソード、うつ病で休職したことをきっかけに公務員から転身して今の活動に至ることなど、現代を生きるヒントが随所で語られています。

著者がタイトルに込めた想い「まだ何になるかわからない」それを未来への不安と受け取るか、それとも期待と受け取るか。本書を読み終えると、その言葉の受け取り方が少し変わるかもしれません。

雑誌・新聞

社会のさまざまな場面で急速に普及しつつある生成AI。その利活用に関する特集記事のある雑誌をご紹介します。ぜひご覧ください。

『ジチタイワークス』 ジチタイワークス Z318/J22
2025.10(Vol.40, 2025年10月)

特集「生成AI・DX 生成AIが切り開く自治体DXの次のステージ」

『事業構想』 事業構想大学院大学出版部 Z335/J2
2025.12(通巻159号, 2025.12月号)

特集「AIを活かして創る住民本位の社会 行政と地域のDX最前線」

『宣伝会議』 宣伝会議 Z674/S6 2025.12(通巻1010号, 2025.12月号)

特集「生成AIの浸透でどう変わる!?: オウンドメディアとコンテンツマーケティング戦略」

地 域

『松平定信の文化力 つくり・しらべ・うつし・つたえる』
白河市歴史民俗資料館／編集・発行 2025.9
L289/M1/79

白河藩主・松平定信は、幕府老中として「寛政の改革」を推し進めた人物として知られています。本書は、高い教養を持つ文化人としての定信に光を当てた企画展図録です。文化事業を通じて見る為政者の側面だけでなく自作の和歌や絵画、写本等を解説付きで掲載。多才だった定信の人物像をめぐって、読み物としても楽しめる一冊です。

『ピッケルと口紅 地球あちこち登った笑った考えた』
(ヤマケイ文庫) 北村 節子／著 山と溪谷社 2025.9
L289/T30/18

三春町出身の登山家・田部井淳子さんが女性として初めて世界最高峰のエベレスト登頂に成功し、今年で50年になります。登山隊に参加していた記者の筆者は、その後も田部井さんと組んで世界の山々へ挑んでいきます。その様子を描いた1997年刊行の書籍が今年復刊されました。10月31日には田部井さんをモデルにした映画「てっぺんの向こうにあなたがいる」が公開され、本書で描かれた一幕を彷彿とさせるシーンも見ることができます。この機会に田部井さんの足跡をたどってみてはいかがでしょうか。